

マンマシンチャートアプリ 利用者向け仕様マニュアル

1. このアプリについて

マンマシンチャートアプリは、人と機械の作業イベントを時系列で記録し、作業時間、待ち時間、機械稼働時間を整理するためのアプリです。記録結果はCSV、Excel、チャートとして確認できます。

2. できること

- 作業名、作業者名、設備名を入力できます。
- タイマーを使ってイベントを記録できます。
- 人の作業、監視、待ち、機械の稼働・停止を整理できます。
- summaryとchartを画面上で確認できます。
- CSVをdownloadできます。
- Excelを生成できます。

3. 利用前の準備

- 測定対象の作業、設備、作業区分を決めてください。
- いつイベントを押すか、測定者のルールをそろえてください。
- Excel生成を使うにはログインしてください。
- CSVや画面上のchart確認は、無料利用回数のcount対象ではありません。

4. 画面項目の説明

- 対象情報：作業名、作業者名、設備名を入力します。
- 入力モード：標準入力モードまたは詳細入力モードでイベントを記録します。
- タイマー：測定中の経過時間を表示します。
- イベント履歴：記録したイベントを時系列で表示します。
- summary：作業時間、監視時間、機械稼働時間などを集計します。
- chart：人と機械の状態を時間軸で表示します。
- CSV download：記録結果をCSVで出力します。
- Excel download：記録結果とchartをExcelで出力します。

5. 基本操作手順

- 1. 作業名、作業者名、設備名を入力します。
- 2. 測定開始にあたる状態ボタンを押します。
- 3. 作業状態が変わるたびに対応するイベントボタンを押します。
- 4. 測定が終わったら終了操作を行います。
- 5. summaryとchartで内容を確認します。
- 6. 必要に応じてCSVをdownloadします。
- 7. Excelが必要な場合はExcel生成ボタンを押します。

6. 出力される内容

CSVには、主にイベント履歴や区間ログが含まれます。Excelには、イベント履歴、区間ログ、summary、chartなどをまとめて出力します。CSVは軽い記録確認に、Excelは共有や報告に向いています。

7. 無料利用回数の考え方

- Excel生成が成功したときに1回として数えます。
- CSV、タイマー、イベント入力、summary、chart表示は数えません。
- 残り0回の場合でも、count対象外の操作は利用できます。

- 残り0回の場合、Excel生成は停止されます。

8. 入力・出力例

入力例:

- 作業名: NC旋盤段取り替え
- 作業者名: 作業者A
- 設備名: NC旋盤1号機
- イベント: 作業開始、機械稼働、監視、停止、作業終了

出力例:

- 人の作業時間と監視時間
- 機械の稼働時間と停止時間
- 時系列chart
- CSVまたはExcelの記録ファイル

9. 注意事項

- 測定値は、利用者が入力したイベント時刻に依存します。
- ボタンの押し忘れや押し間違いがあると、summaryやchartもずれます。
- 正式な改善判断に使う前に、測定ルールと記録内容を確認してください。
- 作業区分の定義は現場ごとにそろえてください。

10. よくあるエラーと対処

- イベントが足りません: 区間ログを作るために必要なイベントを記録してください。
- 時刻順序が不正です: 測定のやり直し、またはイベント履歴の確認をしてください。
- CSVが出せません: 区間ログが作れるだけの記録があるか確認してください。
- Excel生成が停止しています: ログイン状態と無料利用回数を確認してください。
- backendに接続できません: backendが起動しているか確認してください。

11. 個人情報・機密情報について

作業者名、設備名、製品名などに個人情報や秘密情報を入力しない運用を推奨します。必要な場合は、作業者A、設備1などの匿名表記を使ってください。

12. 問い合わせ先

自社業務への導入や継続利用については、次のページからお問い合わせください。

<https://victorconsulting.jp/contact/>